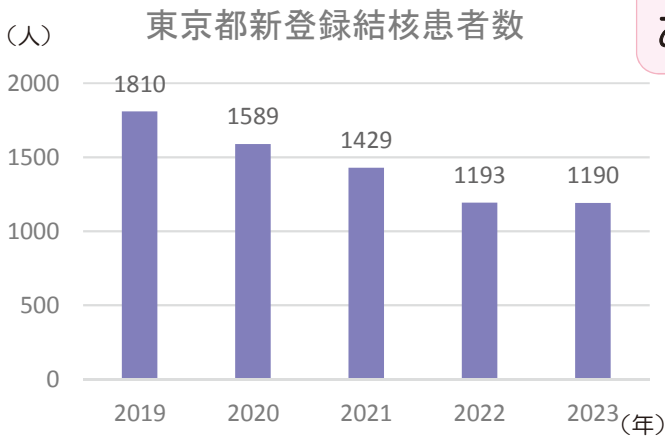


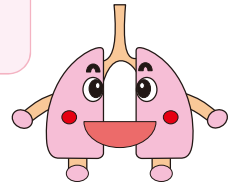
結核はまだまだ身近な病気です！

結核ってどんな病気？



結核は過去の病気ではありません！

東京都多摩府中保健所
結核対策イメージキャラクター
「肺えもん」



結核とは、結核菌によって、主に肺に炎症が起きる病気です。全国では年間約1万人、東京都でも約1,200人が毎年新たに診断されています。
誰にでも起こりうる病気です。

どのように感染するの？

結核患者さんの咳やくしゃみの飛沫（しぶき）と一緒に空気中に飛び散った結核菌を吸いこみ、肺に定着することで**感染**します。

感染しただけでは症状がなく、人への感染性もありません。

どうなると発病するの？

感染しても多くは体の免疫力で結核菌の活動をおさえます。しかし、加齢や病気などで免疫力が落ちると**発病**することがあります。

感染した人の1～2割が発病するといわれています。

結核の症状は？



左記の症状が**2週間以上**続くときは、医療機関を**受診**しましょう。

※症状が出ない場合もあります。

「発病」しても、きちんと薬を飲むことで治る病気です。

結核を早期発見するためには？

年に1回は学校・職場・住民健診を活用し**胸部エックス線検査**を受けましょう。

<参考>

東京都感染症情報センター「結核」

政府広報オンライン「日本では毎年約10,000人が新たに発症！ 古くて新しい感染症、「結核」にご注意を！」



【この記事に関するお問合せ】保健対策課 感染症対策担当

